

## 原稿作成要領

(平成 17 年 3 月 31 日改訂)

### 1. 論文の形式

(1) 和文原稿：内容区分及び配列は、次のとおりとする。

1) 表題, 2) 著者名, 3) 所属, 4) 欧文表題, 5) 欧文著者名, 6) 欧文所属,  
7) 欧文要約, 8) キーワード, 9) 略表題, 10) 本文, 11) 和文要約, 12) 引用文  
献

(2) 欧文原稿：内容区分及び配列は、次のとおりとする。

1) 表題, 2) 著者名, 3) 所属, 4) 欧文要約, 5) キーワード, 6) 略表題,  
7) 本文, 8) 引用文献, 9) 和文表題, 10) 和文著者名, 11) 和文所属, 12) 和文  
要約

### 2. 原稿の書式

(1) 原稿は、原則としてワードプロセッサを用いて作成する。

(2) 用紙は A4 版縦型とし、和文は 1 行 35 文字、1 ページ 30 行、横書きを標準とする。欧文は  
ダブルスペース（1 ページ約 25 行）で印字する。

(3) 論文第 1 ページの表題、著者名等は、下記の例にならって書く。

(和文原稿の例)

## バクテリオファージ T4 の宿主認識機構

三重太郎<sup>1</sup>・伊勢原花子<sup>2</sup>・志摩一郎<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 三重大学生物資源学部, <sup>2</sup> 農業生物資源研究所

## Host Recognition Mechanism of the Bacteriophage T4

Taro MIE<sup>1</sup>, Hanako ISEHARA<sup>2</sup> and Ichiro SHIMA<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> Faculty of Bioresources, Mie University, 1515 Kamihama-cho, Tsu, Mie 514-8507, Japan

<sup>2</sup> National Institute of Agrobiological Sciences, Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8602, Japan

### Abstract

(英文で書き、250 語程度とする)

**Key Words:** host recognition, bacteriophage, lipopolysaccharide, receptor, single-stranded DNA

略表題：ファージの宿主認識機構

(脚注の例)

2002 年 9 月 22 日受理, <sup>1</sup> 〒514-8507 津市上浜町 1515, <sup>2</sup> 〒305-8602 つくば市観音台 2-7

\* For correspondence (e-mail: ichiro@bio.mie-u.ac.jp)

(欧文原稿の例)

## Insights into the Evolution of Self-incompatibility in *Ipomoea batatas*

Taro MIE\* and Ichiro SHIMA\*\*

Faculty of Bioresources, Mie University, 1515 Kamihama-cho, Tsu, Mie 514-8507, Japan

**Abstract** (250 語程度)

**Key Words:** evolution, self-incompatibility, pollen-stigma interaction, S-gene, *Ipomoea trifida*

Running Title: Evolution of self-incompatibility in *Ipomoea*

---

(脚注の例)

Accepted: September 22, 2002,

\* Present address: National Institute of Vegetable and Tea Sciences, Anou 514-2392, Japan

\*\* For correspondence (e-mail: ichiro@bio.mie-u.ac.jp)

### 3. 表題

表題はできるだけ簡潔にし、「～に関する研究」のような表現は避ける。副題は、別行とする。

### 4. 著者名と所属機関

所属機関が異なる共著者がある場合には、著者名の右肩に番号を付け、それぞれの所属機関名を書く(和文原稿の場合には、その宛先を脚注に示す)。

共著者のうち投稿責任者(correspondent)の右肩に\*印を付け、脚注にメールアドレスを表記する。

### 5. 要約

欧文要約(Abstract)は、英語で 250 語程度とし論文第 1 ページに載せる。欧文原稿の場合には、和文要約(表題、著者名、所属、和訳した要約文)を論文原稿の最後に載せる。和文原稿の場合には、500 字程度の要約を本文の後(引用文献の前)に載せる。

### 6. キーワード

欧文要約の後に、5 個以内の Key Words を英文用語で記す。

### 7. 略表題

和文の略表題は 20 文字以内とし、英文の略表題は 10 語以内とする。

### 8. 本文

原則として、本文は次の順序で書く。

緒言(Introduction)、実験方法(Methods)または材料及び方法(Materials and Methods)、

結果(Results)、考察(Discussion)、謝辞(Acknowledgement)、文献(References)

ただし総説や社会科学系の論文では、これらのうち不要な項目を省いたり別名の項目に置き換えたりすることができる。

## 9. 文献

引用文献は、本文中では<sup>1)</sup> または<sup>1,5,7-9)</sup> のように通し番号で示す。文献リストは本文末に番号順に記載する。この文献リストの書き方は、次の例にならう。

(学会誌等)

- 1) MONTEITH, J. L., HALL, A. W. and WOODARD, R. B. (1998) Gas exchanges in plant communities. *Agric. Biol. Chem.* **34**: 23-34.
- 2) 上浜太郎, WOODARD, R. B., 江橋良子. (2001) トマト, *Lycopersicon esculentum*, の果実におけるビタミン類の含量分析. *日本食品科学会誌* **8**: 15-20.

(単行本等)

- 3) RICHARDS, T. S. (1985) Dissolved gases other than carbon dioxide. In: *Chemical Oceanography* (ed. by J. P. Riley and G. Skirrow) Academic Press, New York, p. 324-355.
- 4) 江橋良子, 上浜太郎. (1997) 海苔の生産と品質, 「伊勢湾の海藻」(白塚二郎編, 丸善出版), p. 565-580.

## 10. 図 (Fig.), 表 (Table) および写真

- 1) 図表は、本文の最後に別紙として添付する。また図表の挿入箇所を本文の右側欄外に示す。
- 2) 図および写真は、直ちに製版できるよう鮮明なプリントを作成し、縮尺を明記する。カラー印刷とする場合には、写真の欄外に「カラー印刷」と記入する。
- 3) 図表の表題は、和文の場合は図 1, 表 3 のように書き、欧文の場合は Fig. 1, Table 3 のように書く。

## 11. 単位, 記号

計量単位は、原則として国際単位 (SI) を用いる。記号の後には略記を表すピリオドを付けない。

## 12. 生物名

和文原稿では、標準和名をカタカナで書く。学名はイタリックとし、該当語の下にアンダーラインを付す。

## 13. 物質名

和文原稿で外来語の化学名を書くときはカタカナで表し、原語を用いる場合はスモールレターで表す。化合物の略語を使うときは、初出時に正式名称とともに記載する。(例) エチレンイミン (EI)

## 14. 最終原稿の提出

査読後の改訂・最終原稿は 2 部作成し、上付, 下付, 下線, 特殊文字書体などについては赤ペンでマークする。また、3.5 inch Floppy Disk, MO Disk, CD-R Disk 等の記録メディアに Text File で保存した本文原稿, Excel 等で作成した表, および TIFF 形式, PNG 形式, JPEG 形式 (低圧縮), PDF 形式で保存した図・写真等 (印刷に耐えうる解像度で作成のこと) のファイルを入れて提出する。このディスクには、使用した OS (Windows, MacOS 等) およびソフト名を記したラベルを添付する。

記録メディアは必ずウイルスチェックを行い、問題がないことを確認のうえ、ウイルスチェックの方法を明記して提出すること。